資料４

第1回

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会
参考資料

平成30年2月2日（金） 19:00～

地域活性推進課　地域活性推進係

１　福岡県立山田高等学校跡地利活用に関するこれまでの経過

年 月	経 過
昭和１８年	福岡県立山田高等学校開校。 ※旧制中学校として開校し、昭和２３年の学制改革により高等学校となった。
平成１９年３月	福岡県立山田高等学校廃校。６４年間の歴史に幕を閉じる。
平成２１年５月	嘉麻赤十字病院の充実と旧山田高等学校跡地の医療的活用に関する請願書が提出される。（※請願書を別紙添付）
〃　　９月	議会において、全会一致で請願が採択される
平成２１年 ～平成２９年	嘉麻赤十字病院と外来駐車場、移転先の候補地として協議を行う
平成２９年２月	嘉麻赤十字病院から移転断念の報告を受ける。
平成２９年３月	議会にて嘉麻赤十字病院の移転断念について行政報告を行う。 （※行政報告抜粋を別紙添付）
平成２９年４月	山田高校跡地検討に関する所管課が「企画財政課」から「地域活性推進課」に変更。 跡地利活用についての検討を再開。
平成２９年６月～	庁内に嘉麻市山田高等学校跡地整備検討委員会を設置。計５回開催 ※利活用方法の進め方について検討を行っている。
平成３０年２月	福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会を設置。

平成２９年３月　　※行政報告抜粋

～「略」～

次に２件目は、嘉麻赤十字病院の山田高校跡地への建替えに関してでございます。
嘉麻赤十字病院については、築３５年が経過し、建替えの時期を迎えており、本市としましては、議会や地域からの要望もあり、合併時から山田高校跡地を利用しての建替えについての協議を病院側と重ねてきたところでございます。
昨年１月には、「病院将来構想」が策定され、以降、昨年は６回、本年は１月に１回、財政面等の具体的な協議を行っていたところでしたが、２月１３日に日本赤十字社福岡支部事務局長並びに嘉麻赤十字病院長ら関係者が来庁され、「新築建替えについては断念する」との報告を受けたところでございます。
理由としましては、日赤本社において、嘉麻赤十字病院の経営状況や今後の展開を厳密に検証したところ、建替え資金については、日赤内部の基準による借入金が数億円しか認められないこと、また、建て替え後の経営について安定した経営ができないと結論されたこと、その結果、多額の補助金を地元自治体である本市に求めることとなり、本市に財政支援をお願いするのも限りがあること、またその他の資金確保についても手立てがないこと等でございました。
今後につきましては、現施設の改修や医療機器の整備等に努めながら、継続して現在の地域において病院の運営を行っていくとのことであり、本市としましても、山田地区を中心とした地域医療に引き続き貢献していただきたく、嘉麻赤十字病院の存続について強く要望していくものでございます。

最後に３件目は、～「略」～

2　福岡県立山田高等学校跡地の現状

①航空写真

②敷地面積等

	地番	面積
①	上山田1244-5	12,051.00㎡
②	上山田1683-120	5.66㎡
③	上山田1683-240	7,046.00㎡
④	上山田1683-239	883.00㎡
⑤	上山田1683-68	20,294.00㎡
⑥	上山田1306-1	978.00㎡
	合　計	41,257.66㎡

③校舎部分

校舎床面積：5,397.02㎡

建築年
校舎　　昭和38年～昭和53年
プール　昭和59年
体育館　平成元年

④グラウンド

⑤その他（市所有敷地内）

【同窓会館】

※市の所有する敷地内に同窓会館とモニュメント等が存在している。

【モニュメント】

３　福岡県立山田高等学校跡地の課題

①敷地及び建物の所有者等

・山田高等学校の敷地及び建物の所有者は、登記上嘉麻市ではない。

・現存の校舎部分は旧耐震基準の建物である。

②グラウンドの陥没

・グラウンド内には大きな陥没があり、土地を利用するうえで用途が限られる。
・位置は運動場の西側。大きさは直径約６ｍ、深さ約３ｍ程。たまった水も抜けていることから下に空洞の存在も考えられる。

③その他

【グラウンドへの道路】

・グラウンドに向かうには、進入路が狭い道路を通って行く必要がある。
・取り付け道路の幅は３ｍ程。軽自動車同士でもすれ違うことは難しい。